



# 東日本大震災から10年

東日本大震災では津波による被害が甚大で、多くの命が奪われました。

国が設置する地震調査研究推進本部（地震調査委員会）の評価では、東海地方は南海トラフ巨大地震が今後約30年の間に70%～80%の確率で発生するとされています。

また名東区では地震による建物倒壊等の被害が予想されます。

地震に備えて日頃からの対策をもう一度考えてみてください。

## 家具等の転倒防止対策

### ① 部屋のレイアウトを見直しましょう

家具が倒れてくる向きに寝る場所があると、その家具の下敷きになってしまいます。また、倒れた時に出入口を塞いでしまうような向きに家具を置いてしまうと、いざという時に避難の妨げになってしまいますので、家具を置く向きに注意してください。

### ② 家具を固定しましょう

家具をL字金具で柱や壁に直接固定する方法が最も効果が高いですが、ストッパー式、マット式、ポール式等様々な方法があります。

☆ ご自身で家具固定ができない場合は、『家具転倒防止ボランティア派遣事業』があります。詳しくは名東消防署または名東区役所までお問合せください。

## 火災対策

### ① 住宅用火災警報器を設置しましょう

火災を早期発見し避難することができます。

☆ 設置して10年が取替えの目安です。

### ② 感震ブレーカーを設置しましょう

地震の揺れを感じてブレーカーを自動的に落とし、停電後、電気が復した際に起きる通電火災を防ぐことができます。